



由良町

こんにちは! 議会です

2019.8.1
NO.123

発行/由良町議会 発行責任者/議長 馬場博文
編集/議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738 (65) 1100 FAX.0738 (65) 0226



6月定例会

議案質疑 P2~3

一般会計補正予算
条例

常任委員会活動
P4~5

一般質問 P6~11

子どもたちの自主性を育む
ゆら子ども未来塾



放送内容、読めます

令和元年 6月定例会

6月10日～14日

議案質疑

常任委員会

一般質問

令和元年6月定例会は、6月10日から14日までの5日間の会期で開きました。

今回の定例会では、専決処分等の報告が11件、条例一部改正4件、条例制定1件、令和元年度補正予算2件（一般会計・介護保険特別会計）を慎重に審議し、すべて承認、可決しました。
一般質問は、6名の議員が登壇しました。

『デジタル防災行政無線』 現在調整中

問 今年4月以降、
防災無線は、アナ

ログからデジタル放送に
変わりました。

その後、「放送が聞こ
えにくい」という声が寄

せられていると思います。

機械音声にした理由は、

また、緊急・災害時には、
どう対応するのか。

答 **総務政策課長**

機械音声の場合、
放送内容をパソコンに文
字入力し、機械が読み取
り、放送します。

放送内容をパソコン入
力することで、携帯電話

やスマートフォンの「防
災行政メール」や「町

ホームページ」、「ケー
ブルテレビの行政放送」

にデータを配信し、内容
を文字で見ることができ、

また、音声でも聞くこと
ができます。

現在、機械音声の抑揚
やスピード、間隔を試行
錯誤しながら微調整をし
ています。

町民の方々から、聞き
取りにくいという声があ
る場合、職員が現場に向
かい、放送を聞いて確認
し、調整作業を行ってい
ます。

そして、緊急時は、人
の声で情報を発信したい
と思います。

また、放送内容は電話
でも確認できます。

防災行政情報メール

町内放送の内容を携帯電話やスマートフォンに
メールでお知らせします。

由良町ホームページでも内容確認!!



**QRコードで
簡単登録!!**

詳しくは総務政策課まで。
☎65-0200

電話確認サービス
(通話料無料)

☎0120-001-687

購入対象者

(1) 2019年度住民税非課税者

※住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護被保護者等を除く。

(2) 3歳半までの子が属する世帯の世帯主

※2016年4月2日～2019年9月30日の間に生まれた子

購入限度額

(1) の該当者：最大2.5万円(販売額2万円)

(2) の該当者：最大2.5万円(販売額2万円)
×
3歳半までの子の数

使用可能期間：2019年10月～2020年3月までの間で
町の定める期間

取扱事業者：町内の店舗を対象として公募

プレミアム付商品券の購入対象者は

問

プレミアム付商品券の詳細は。

答

住民福祉課長

消費税では所得の少ない人ほど税

負担が重くなるため、今年10月の消費税率
引上げに対する低所得者対策、また、子育て
支援対策として国が実施するものです。

7月末から8月初めまでには、対象者の
方に申請のお知らせをする予定です。

また、3歳半までの子どもさんをお持ち
の方には、引換券を9月末にはお送りす
る予定です。

対象者、金額等は左表のとおりです。

問

今回の条例改正
は、学童保育支援
員についての条件緩和で
あるが、その内容は。

答

教育課長

文部科学省の省

令が改正されたことに伴
う条例改正です。

内容は、次の通りです。

① 支援員になるために必
要な実施研修先に政令

指定都市（20市）を追

放課後児童健全育成事業

(学童保育)

加

② 教育職員免許法第4条
に規定する免許状を有
する者

する者

③ 5年以上、学童保育事
業に従事した者で、町

長が適当と認めたもの

町の学童保育支
援員の人員状況は。

問

町の学童保育支
援員の人員状況は。

問

町の学童保育支
援員の人員状況は。

答

教育課長

現在、学童保育

支援員は、4名で、放課
後児童支援員の認定資格

を有する方が2名、保育

士資格を有している方が
1名、もう1名は教育職

員免許を有している方
です。

森林環境譲与税基金条例

問

新条例制定にい
たった経緯は。

答

産業建設課長

森林環境譲与税
の創設により、今年度よ
り国から町に譲与されま
す。

森林の間伐や林業の促
進に関する費用に充てな
ければならないとされて
いることから、これを基
金に積み立て必要に応じ
て活用するためです。

今年度、由良町に対して、
国から48万6千円が分配
され、基金に積み立てる

ための条例を設置するこ
とになりました。

現在、由良町には、森
林組合は存在しま
せん。所有者のわ
からない森林に対しては、
どう対応するのか。

問

現在、由良町には、森
林組合は存在しま
せん。所有者のわ
からない森林に対しては、
どう対応するのか。

答

産業建設課長

所有者不明の森
林については、県に対し
て経営管理設定の裁定を
申請し、町に経営管理権
を設定できます。

今年度、由良町に対して、
国から48万6千円が分配
され、基金に積み立てる

総務文教常任委員会

町内教育施設を視察【6月20日】

町内の1中学校、3小学校、こども園の教育環境について視察し、各学校の校長や園長から、現況や課題などについてお聞きました。（小中学校、こども園の児童生徒数、園児数は、すべて6月1日現在です。）



白崎小学校（児童数64名）

教育目標 「豊かな感性を持ち、
自主性と創造性にとむ
子どもの育成」



衣奈小学校（児童数26名）

教育目標 「豊かな人間性を持ち、
仲間とともに伸びる
子どもを育てる」



由良小学校（児童数167名）

教育目標 「やさしく、かしく、たくましく」



ゆらこども園（児童数108名）

教育・保育目標
「子ども主体の充実したつながる保育」



由良中学校（児童数100名）

教育目標 「共に育む
豊かな学びと人間性」

日高・美浜・みなべ町の防災施設を視察【6月28日】

沿岸部に位置する3町の津波避難対策としての取り組みを現地視察し、また担当職員から説明を受けました。



日高町阿尾地区「尾崎高台」



美浜町松原地区「高台津波広場」



防災備蓄倉庫
トイレ・毛布・水などを備蓄

産建厚生常任委員会

産建厚生常任委員会は、6月18日に町内の工事箇所を視察。
6月19日に環境月間に伴い、町内2社の企業訪問を行いました。

企 業 訪 問



MES-KHI由良ドック株式会社

MES-KHI由良ドック株式会社の今年度の方針は、品質を最重要課題としながら人員確保に努めることだそうです。



株式会社 駒井ハルテック和歌山工場

株式会社 駒井ハルテック和歌山工場では現在、関連企業も含めて約170名の方が働いています。



再オープンが待たれる白崎海洋公園ログハウス



町道を整備中(大引区)

町内工事箇所視察



白崎青少年の家から東に延びるハイキングコースの整備

問

議員が町行政の問題などを問いたす「一般質問」は6名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下、その内容を要約してお知らせします。



野田 悟 議員

議案質疑

常任委員会

一般質問



避難訓練開始(由良小)

これで良いのか
小学校の立地は

アンケート調査を参考に

問

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に70～80%の確率で起きると予想され、由良町も地震と津波で甚大な被害が発生すると想定されています。

学校では津波に備え、十分な避難訓練を積んでおり、時間内に避難できると聞いていますが、地震、津波のことですから、大きな発生時期が予測できなく、想定外のことごとで避難が遅れることも考えられます。

人口減少で各小学校の児童数は非常に減少しています。このままでは、近い将来1校に統合されることも十分予測されます。

南海トラフ巨大地震の震度7で窓ガラスが割れ、机が転げ、周りの家が倒壊した状態で、果たして何分で学校を出発できるか非常に心配します。恐

答

教育長

本町の各小学校の地震による津波を想定した避難場所については、由良町地域防災計画及び各学校の防災計画に定められており、継続的・計画的に避難訓練を実施しています。

現在、教育委員会において、児童数の減少をふまえた教育環境のあり方についてのアンケート調査を予定しており、小学校統合についての意見を聞く質問項目や自由記述



歩いて興国寺へ(由良小)

する欄を設けています。津波避難3原則の1つである「想定にとらわれない」ということを考えると、より安心、安全な選択をすることが大切です。当然、学校の立地場所が高台であることはいうまでもないことです。

保護者や地域住民の方々のアンケート調査結果を参考に、関係者のご意見を聞き、本町のこれからの小学校の教育環境のあり方を考えていきます。



森 三枝子 議員

状況、課題はどうなっているのか。
また、由良町の観光活性化に向けて、どう考えているのか。

観光の活性化に向けては、観光協会等と連携をしながらPR等に努めますが、まず、町民の皆さん、また、観光に係る事業者の皆さんが一体となって、リピーターの確保が期待できる体験型の

一般質問

由良町の観光活性化を

町民全体で取り組んでいくことが大事

問

昨年9月の台風で、観光拠点である白崎海洋公園や万葉公園、つり公園など甚大な被害を受けました。

海洋公園が4月20日、7カ月ぶりに一部開園されました。

答

町長

海洋公園への観光客入込数から見ると、過去5年間では、平成26年が最も多く、平成30年が休園の影響で最も少ないという状況です。

中紀エリアの一大観光拠点の復活で、県内外からの注目を集め、テレビ局や新聞社にも大きく取り扱われました。関係者からのお見舞いや復活を望む声、激励の言葉には大変感謝しています。

観光立町に向けての現状、課題はどうなっているのか。

また、由良町の観光活性化に向けて、どう考えているのか。

観光の推進であるとか、由良町ならではの魅力を楽しめる観光地づくり、こういうものを推進した中で、地域観光との相乗効果を創出していくことが大事であると考えています。

子どもたちの安全対策は

見守り隊の献身的な活動に支えられている

問

今年、5月8日、散歩中に事故に巻き込まれたり、神奈川県川崎市で保育園児と保育士が園外を

者が、犠牲になっています。

中学校の安全対策は、

答

教育長

本町においては、登下校時の通学路における安全対策として、見守り隊の献身的な活動に支えられているところが大きく、子どもたちの安心・安全な登下校へのご支援に感謝しているところで

また、下校時を知らせる町内放送は、地域における安全対策及び環境づくり、啓発活動に生かされています。



「おかえり」「ただいま」(阿戸地区)

質 問



中谷 茂生 議員

決算認定

指定管理

一般質問

商品販売、食事提供の再開を

事業者を募集していきたい

問

白崎海洋公園は、4月20日からの再開園、その後も観光客が多く、賑わっていました。パークセンターでの、食べ物を持ち込めるスペースは好評だったのではと考えられます。

ただ、そこに持ち込むべき食べ物販売がほとんどなかったこと、また、産品以外の、みやげ物その他の販売も行っていなかったこと、そして、その後は何も販売がないのは問題ではないか。

これでは観光による経済効果をかなり取り逃がしていると考えられます。観光地、道の駅の体をなしていないこの状況を何とかしないと、遠くか



再開園時の軽トラック市



休憩スペース
(パークセンター2階)

答

町長

がマシ」といった考え方が、町職員の中にはないか。

パークセンターでの産品販売は、ログハウス等の運営も含んで、事業者を募集していきたいと考えています。

食事提供は、地元の方が作る弁当等の出店、また、移動販売等も考えています。

職員に対しては、前向きに進んでいくことが大事であり、最善を尽くした中で結果として失敗もあり得るが、恐れることなくチャレンジをしていくようにと朝礼等で伝えています。

教育に関する意向調査の実施は

6月下旬から7月にかけて実施したい

問

より良い教育環境について、児童数の減少等の問題もあり、教育効果、また、住環境の面で、より良い教育環境を考えることが必要となっています。

これらについて、広く町民の方々に意見を問う意向調査を行う予定だと聞いています。この調査を通じて、多くの方々が由良町の教育について関心を深め、考える良い機会であると期待しています。

その実施は、どのようなものになる予定なのか。

答

教育長

これまでの教育委員会及び総合教育会議において、児童数の減少に伴う教育環境に関する

これから学習指導要領が改訂され、未来型、21世紀の子どもたちをどのように育てていくのかということが大事なテーマになっています。魅力ある学校づくりとはどういうものなのかということも含めて、皆様方からご意見をいただきたいと考えています。6月下旬から7月にかけて実施する予定です。



山本 大 議員

水越峠バイパス道の早期実現を

国が道路調査を実施

問

国道42号は和歌山県の大動脈であり、災害時には、第1次緊急輸送道路に指定されています。現在、水越峠や町内企業の物資輸送、



完成してから半世紀を超えた

農産物を輸送する産業道路として活用されているが、通行止めになると、海岸線道路を遠回りしなければならぬなど、交通に支障がでています。

いかなる自然災害になっても通行可能な、安心、安全な道路整備を早期に実現してもらいたいとの強い要望があります。現在の進捗状況は。

答

町長

国道42号由良町畑から広川町井関間約6.4キロメートルの整備促進を求める協議会を平成27年に設立し、国・県・各種道路関係団体に要望を行ってきました。

現在の進捗状況は、平成31年3月末に国土交通省近畿地方整備局が、道路調査を実施すると発表がありました。和歌山河川国道事務所においても、交通状況、道路網の課題、必要性・整備効果の整理

等の準備を進めています。地域の皆様方にも協力が、事業着手するには数年かかると思っています。たいと考えています。

聞き取りやすい防災無線を

現在調整中

問

住民の方々から、現在の防災無線が以前と比べて、「聞こえにくい」という話を聞きました。

デジタル対応個別受信機は、費用面的にも由良町全世帯への貸与は困難ということであり、そうした中で現在稼働中の防災無線を、より聞こえやすく、聞き取りやすくする工夫はされているのか。

答

町長

本格稼働は7月からということですが、調整中です。聞こえにくい要因として、スピーカーの本数の減少については、音量レベル等を調整して、より聞こえやすくしていきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

質 問



川出 純 議員

決 算 認 定

指 定 管 理

一 般 質 問



駅構内トイレの早期水洗化を

紀伊由良駅周辺の整備は

国道42号の歩道整備以外、計画なし

問

現在、国道の歩道拡幅のため、家屋の撤去等で紀伊由良駅周辺の風景が変わっています。

今後、町として駅前の整備について、どのように考えていますか。

答

町長 由良駅前の整備は、現在、国土交通省が進めている国道42号の歩道整備以外、計画はありません。

また、駅構内のトイレの水洗化はどのようになっているのか。

国民健康保険制度に1兆円の公費投入を

多額の国費投入は難しい

問

平成30年度より、国民健康保険制度の運営は、都道府県の運営になりました。

サラリーマンなどの

「協会けんぽ」加入者の健康保険料は、収入の約1割です。国保の場合、収入の約1割と資産割や均等割など収入以外での課税があり、割高になっています。

また、日本共産党は、公費を1兆円投入して、国保税を引き下げるとい

ません。構内トイレの水洗化については、平成30年6月に由良町身体障害者福祉協会から障害者用トイレの設置、同年8月に当町から多目的トイレ設置について、西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社あてに要望書を提出していますが、現時点において、トイレの改修計画はないとのことです。引き続き、水洗化について協議していきたいと考えています。

答

町長

う政策を発表しています。町長の所信は、

全国知事会が、国民健康保険制度への国の負担率を上げるよう要望していることは承知しています。

また、全国町村会においても、以前から同様の要請を行っています。

ただ、国民健康保険制度に極端な多額の国費を投入することは難しく、これは、町政においても同じで、私達は、町の国民健康保険を預かる立場として、現行制度の中で健全で安定的な運営をしていくということに力を注いでいきたいと考えています。

その他の質問

● 鳥島付近の県道改修について

● 防災無線が聞こえない

一般

「こども園あり注意」 立て看板などの設置を

設置基準・場所について今後検討



「ゆらこども園」前国道

問

先日、滋賀県の
保育園で園外散歩

中に交通事故に巻き込まれ、園児を含む死傷事故が発生しました。

こども園でも、園外散歩を実施していますが、この事故後、すぐに散歩を一時取りやめ、安全性の見直しを行ったと聞いています。

行政側からの指導内容、そして、檸檬会側の対応

答

教育長

また、こども園は、国道沿いにあるが、建物が少し目立たない場所であり、わかりづらいと思います。注意を促すために「こども園あり注意」といった、立て看板などの設置を考えてはどうか。

事故直後、園長と連絡を取り、散歩道の安全確保と指定管理者で

問

白崎海洋公園は、施設を復旧させていくのか。

号により大きな被害を受け閉鎖になりましたが、今年4月20日に一部開園されました。

広報ゆら6月号には「今後、閉鎖している公園内施設を復旧させ、開園範囲を順次拡大していく予定です」と掲載されています。

今後、どういう工程で

答

町長

当面は、町直営で運営していくということですが、今後の運営をどう考えているのか。

公園内クラブハウス周辺以外の復旧は、7月末を目標に工事を進めています。

しかし、閉鎖しているクラブハウスを今後どう

白崎海洋公園のクラブハウスは、どうするのか

町のプロジェクトチームで検討

ある檸檬会本部の指示等について確認しました。

園外での体験活動は、園児の心身の健全な成長

や発達に欠かせないものであり、これまでも安全面において充分に確認し、実施してきましたが、改

めて、散歩道の再点検を指導しました。

答

教育課長

看板設置の提案

について、国道を管轄する国土交通省においては、看板を歩道橋への取り付けはできないが、設置可

能な敷地内へ支柱を立て、歩道上1メートルまで張り出して立てることは可能ということでした。

設置基準や設置場所について、課題もあります。今後検討していきます。

するのかということについては、町のプロジェクトチームで検討していますが、方針は、まだ固まっていません。

方針が固まるまでは、町直営で運営していきたいと考えています。

また、産品販売等については、ログハウス等の運営も含んで、今後、事業者を募集していきたいと考えています。

その他の質問

●今年度の総合戦略における新規・拡充事業の進捗状況は

ゆら子ども未来塾 に行ってきました

由良町中央公民館で、由良小学校区の小学生を対象に「ゆら子ども未来塾（毎週土曜日、午前9時30分から11時30分）」が開設されて2年になります。指導員として、子どもたちをサポートしている、元教師の小田亨子さん、寒川明子さんに、お話を聞いてきました。

子どもたちの勉強への意欲と 自主性が、育つてきています

Q 未来塾で子どもたちと接し、実感されていることは。

A 開設当初、5名程度の参加者でしたが、現在、25～30名の子どもたちが参加してくれています。

「子どもの居場所づくり」ということもあるので、お楽しみ会なども行っています。この場所は、勉強するところであるという意識が子どもたちに浸透し、勉強への意欲が出て、辞書などで調べながら復習するなど、自主性が育つてきていると感じています。

Q 一番大切にしていることは。

A 「ここへ来てよかった。勉強がわかってよかった」と思ってくれたら、嬉しいですね。



がんばってま～す



「あ、そうか。わかった。」

Q

ゆら未来塾が開設されてから、子どもたちに変化が見られることは。

A 学年の枠を超えた関係ができ、上の学年の子がお手本になるような「タテの関係」も生まれてきています。

そして、土曜日以外でも、小・中学生の公民館の利用が増えています。

毎週土曜日、白崎会館・衣奈会館でも「子ども未来塾」が開設されています。

編集後記

みなさま、日本列島も夏本番です。

夏といえば、かき氷、海水浴、花火と子どものころはウキウキしたのを思い出します。

子どもたちは、夏休み中も勉強にスポーツに、と頑張っています。

子ども未来塾で勉強する姿を見ると、将来を担う背中が少しだけ頼もしく見えました。

（大）



議会広報編集委員会

委員長 玉置 一郎
副委員長 中谷 茂生

山本 大
野田 悟
中村 真一
山名 実
川出 純